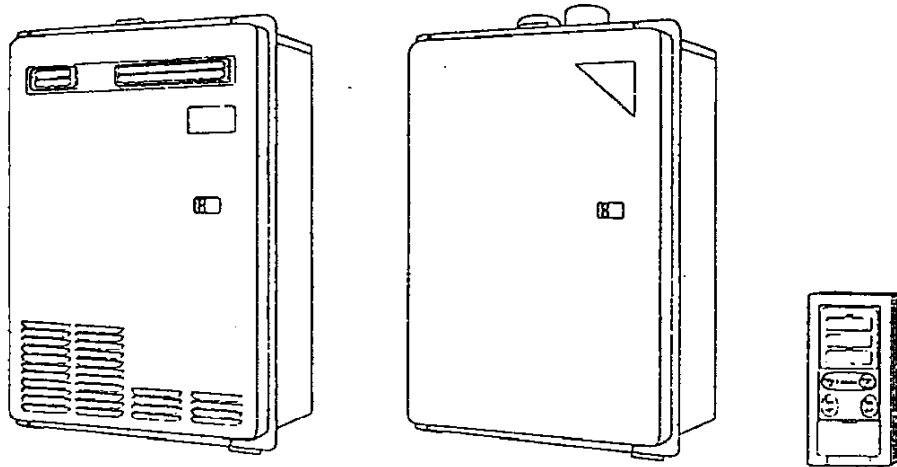
取扱説明書	AD-243RFA 〈AD-243RFA〉 AD-243FFA 〈AD-243FFA〉	540 6345 540 8349	13011

保証書付

取扱説明書

品名	機器コード	型式名	設置方式
AD-362RFA-L	540 9301	AD-362RFA-L	屋外用
AD-362FFA-L	540 7302	AD-362FFA-L	屋内用
AD-243RFA	540 8345	AD-243RFA	屋外用
AD-243FFA	540 8349	AD-243FFA	屋内用

ガス給湯暖房機

このたびはガス給湯暖房機をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

●ガス給湯暖房機の機能を、十分生かしていただくために、必ずご使用の前に取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。

●この取扱説明書の23ページが保証書になっています。内容をよくご確認のうえ、大切に保存してください。

もくじ

特長・機能の紹介

●給湯の立ち上がりがすばやく安定出湯

お湯はり時間もスピーディー！
マイコンによる電子コントロール・水量比例制御機構で、すぐに希望の湯温になりしかも安定した湯温が得られます。

●給湯・暖房が同時で使える２缶２水路方式

●快適暖房

暖房は温水利用で、お部屋の空気を汚しません。

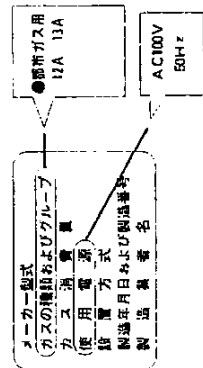
●暖房水の自動補給機能付

暖房水が蒸発などにより少なくなりますと、自動的に補給され手間いらず。

必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくためにこの項は必ずお読みください。

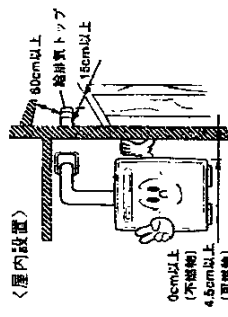
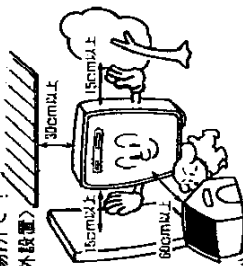
●使用ガス・使用電源についてのご注意

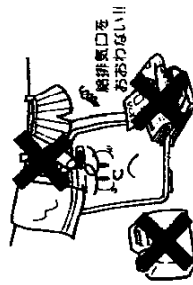
●ガスの種類を確かめてください。
正面右下部に貼ってある銘板(ラベル)に表示のガスの種類と、お宅のガスが一致しているかをまず確かめてください。

●ガスの種類には、都市ガスとＬＰガスとがあり、都市ガスには、ガスグループの区分があります。

●電源の電圧と周波数を確かめてください。
銘板に表示してある電源(電圧・周波数)とお宅の電源の電圧と周波数が一致しているかお確かめください。

●転宅されたときにも、ガスと電源を必ず確かめてください。

●火災予防のために

■壁や可燃物から十分離れている場所で！

■機器の近くに燃えやすいものを置かない！

—2—

●ガス事故防止のために

■燃焼状態の確認

点火、消火のほか、使用中もときどき正常に燃焼していることを、メーンリモコンの燃焼表示で確認してください。

■万一ガスが漏れたときは

すべての処置がおわるまでの間、
●火をつけない。
●電気器具のスイッチの"入・切"をしない。
●電源プラグの抜き差しをしない。

■ガス漏れに気づいたとき

すぐに使用をやめ、給水元栓とガス元栓を閉じ、お買い上げの販売店、またはお近くの東京ガスに連絡してください。

●使用上の注意

■給湯は

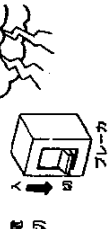
台所・シャワー・洗面等給湯以外には使用しないでください。

■市販の補助用具は

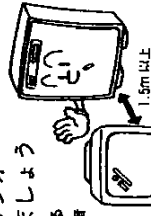
この機器の付属品・補助用具以外は使用しないでください。

■火傷にご注意

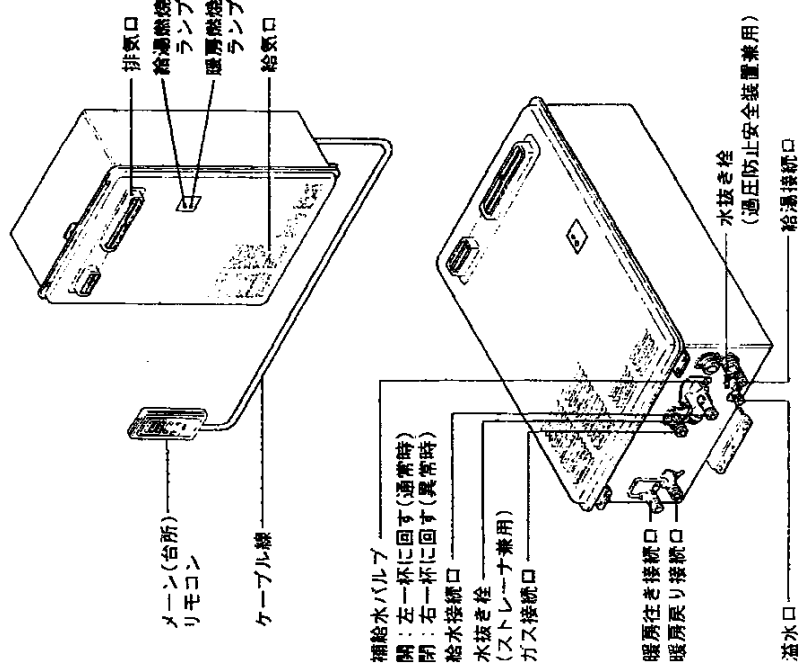
使用中や消火直後は、排気口が高温のため絶対に手を触れないでください。

■はげしい雷のときは

使用を中止し分電盤のブレーカを切ってください。

■テレビやラジオとは離しましょう

電波の乱れによる映像の乱れや雑音の防止のため。

■飲用にお使いのとき

器内に長時間たまっていた水は、飲用または調理に用いないでください。

—3—

必ずお守りください

●凍結にご注意

冬期は暖かい地方でも急な寒波のため、機器内の水が凍り機器が破損することがあります。（P11参照）

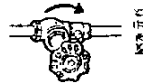
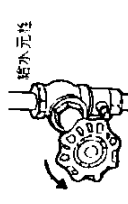
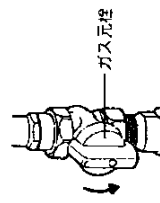
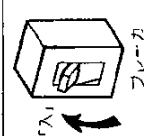
●異常時の処置は

異常燃焼、臭気、異常音などを感じたときや、地震、火災のときは、あわてず次の処置をし、お買い上げの販売店またはお近くの東京ガスに連絡してください。

1 給湯栓を閉める

給湯栓

2 給水元栓とガス元栓を閉める

給水元栓　ガス元栓

3 お買い上げの販売店またはお近くの東京ガスへ

●停電がおこったら

- 停電の時は給湯栓を閉めてください。
- 再通電時は時刻表示が「0 00」になります。
  現存時刻設定・給湯温度設定を行なってからお使いください。

各部の名前と扱いかた

● 外観・構造

メーン（台所）リモコン
ケーブル線
排気口
給湯燃焼ランプ
暖房燃焼ランプ
給気口

補給水バルブ
開：左一杯に回す（通常時）
閉：右一杯に回す（異常時）
給水接続口
水抜き栓（ストレーナ兼用）
ガス接続口
暖房往き接続口
暖房戻り接続口
溢水口
水抜き栓（過圧防止安全装置兼用）
給湯接続口

各部の名前と扱いかた

● メーン(台所)リモコン

●下記画面表示は説明のため全部表示したものです。実際の運転のときは、該当部分が表示されます。

優先表示
表示しているリモコンで給湯の温度調節ができます。

給湯温度表示
給湯側の設定温度を表示します。

給湯燃焼表示
給湯用バーナが燃焼しているときに表示します

時刻表示
現在時刻を表示します。

エラーコード表示
機器に異常があったとき、エラーコード表示に変わります。(P16)

暖房運転表示
暖房運転時に表示します。

暖房燃焼表示
暖房用のバーナが燃焼しているときに表示します。

給湯温度切替スイッチ
給湯・シャワーでお使いになる温度に設定します。(P8)

給湯スイッチ・ランプ
ご使用になるときに「入」にします。点火・消火は給湯栓の開閉で行なってください。給湯スイッチを押すとランプが点灯します。

暖房スイッチ・ランプ
ご使用になるときに「入」にします。リモコン暖房システムを取り付けている場合は、このスイッチを「切」で使用してください。暖房スイッチを押すとランプが点灯します。

メンテスイッチ
過去のエラー表示を確認するスイッチです。(P16)

「時」「分」スイッチ
現在時刻を合わせるスイッチです。(P9)

時刻設定スイッチ
現在時刻を設定するスイッチです。(P9)

操作カバー

初めてお使いいただくときに

●ご使用前の準備と確認

1 給水元栓を全開にする

2 給湯栓を開け、水の出ることを確認し閉める

3 ガス元栓を全開にする

4 機器用のブレーカを「入」にする

5 時刻を設定する

P9に従って時刻を合わせます。

使用方法　給湯のしかた

1 給湯スイッチを押す

給湯ランプが点灯し、リモコンに 優先 が表示されます。

- 給湯温度は、前回設定の温度を表示します。

2 給湯温度切替スイッチを押して温度を調節する

- 必ず 優先 表示を確認してから温度の調節をします。
  優先表示がされてないリモコンでは温度調節はできません。

- 温度切替は約38℃～約47℃の間及び約60℃で調節できます。
- 給湯温度切替スイッチを押しつづけると、連続的に変わります。

3 給湯栓を開ける

- 給湯側の「♨」が表示し、お湯が出ます。
- エラーコード表示「11」が表示している場合は、一度給湯栓を閉め、しばらく待った後、開栓します。

4 給湯栓を閉める

- バーナが消火し、給湯側の「♨」が消えます。

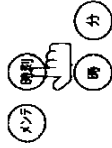
燃焼用送風機は、バーナ消火後約5分で停止します。

ご注意

- 停電または、電源を「入」「切」したあとに給湯スイッチを入れると設定温度は「42」になります。
- シャワーを使用するときは、いきなり体や頭にはかけずに、手で湯温を確かめてからお使いください。
- 夏期など水温が高く、「給湯温度切替スイッチ」を「38」～「43」にセットしても熱い場合、湯量を多く出してお使いください。
- 給湯栓を絞りすぎた場合(約2ℓ/分以下)、バーナの火は消えるようになっています。

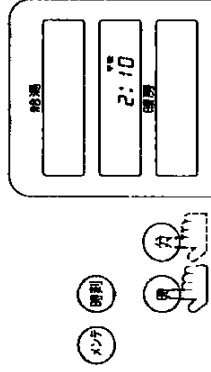
使用方法　現在時刻の合わせかた

- メーンリモコンの操作カバーを開けて行なってください。
- 電源が「入」の状態で「0:00」が点滅します。
- 停電後の再通電後も「0:00」が点滅します。
- 各スイッチの「入」「切」に関係なくセットできます。

1 時刻スイッチを押す

「午前　12:00」が点滅します。

2 現在時刻を合わす

(例：現在時刻が、午後2時10分の場合)

「時」スイッチを押して「午後　2:00」にします。次に分スイッチを押して「午後　2:10」にします。

- 「時」、「分」スイッチは、一度押すと各々1時間、1分ずつ変わります。押し続けると連続して表示が変わります。

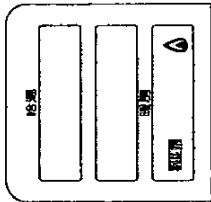
3 時刻スイッチを押す

- 時刻表示が点滅から点灯に変わり、時計が動きはじめます。
- 時刻表示の右下の「.」が点滅します。

使用方法 暖房のしかた

運転　リモコン暖房システムの場合、次の 1、3 の操作は不要です。

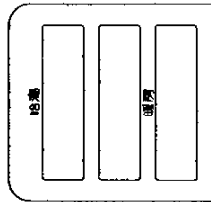
1 メーンリモコンの暖房スイッチを入れる

- メーンリモコンの「運転」と「🔥」が表示されます。
- 自動的に熱源機が運転します。

2 放熱器の運転スイッチを入れる

- しばらくしてファンが回り暖かい空気が出てきます。
- メーンリモコンのエラーコード表示「113」が表示している場合、すべての放熱器を「切」にし、しばらく待ってから放熱器を「入」にしてください。

停止

3 メーンリモコンの暖房スイッチを切る

- 暖房ランプが消灯し、「運転」と「🔥」が消えます。

4 放熱器の運転スイッチを切る

凍結予防のしかた〔暖かい地域でご使用のお客様も必ずお読みください。〕

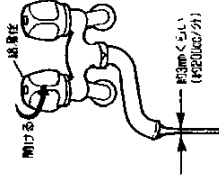
- 凍結すると機器が故障したり配管が破損する恐れがあります。（有償）
- 外気温が0℃近くになると凍結予防ヒータや暖房燃焼運転が作動して凍結予防を行います。絶対に分電盤のブレーカを切らないでください。

給湯

外気温が極端に低くなりますと、凍結予防ヒータだけでは不十分です。
このような場合は、次の方法を行なってください。

方法 1. 給湯栓から水を流す

1 メーンリモコンの給湯スイッチを切る。

2 給湯栓を開ける。

方法 2. 水抜きをする

（長期間不在の場合、または非常に冷えこみの厳しいとき。）

1 ガス元栓を閉める。

2 給水元栓を閉める。

3 水抜き栓を開ける。(2ヵ所)

4 給湯栓を開ける。

5 シャワーを床面まで下げる。

凍結予防のしかた

水抜き後の使用方法

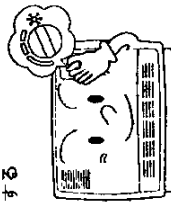
(1)水抜き栓を閉める。(2ヵ所)
※補給水バルブは閉めないでください。
(2)給水元栓を開ける。
(3)給湯栓から水が出ることを確認し給湯栓を閉める。
(4)ガス元栓を開ける。
(5)8ページの「使用方法」に従ってお使いください。

凍結して水が出ないとき

メーンリモコンの給湯スイッチを「切」にし給湯栓を開け、水が出るまで待ってからお使いください。

暖房

- 冬期外気温が0℃近くになりますと機器や温水回路内の水が凍結し、破損することがあります。凍結を予防するため自動的に燃焼します。
- また寒い時には、次の操作をお願いします。

すべての放熱器の運転スイッチを「✻」にする
メーンリモコンの暖房スイッチを「切」にする

凍結したとき

●凍結した場合、ガス元栓・給水元栓を閉めてください。凍結したまま使われますと機器に異常が生じる場合があります。
●凍結が解けたあと、水漏れがないのを確認のうえご使用ください。
●機器や配管が破損しますと、高額の修理費用がかかる場合があります。(有料)

点検・お手入れ

●点検・お手入れの際のご注意

- 点検・お手入れの前には、必ずガス元栓、給水元栓を閉じ、給湯スイッチ・放熱器の運転スイッチを「切」にして機器が冷えてから行なってください。
- 機器の前板などは、はずさないでください。
（機器及びリモコンは絶対に分解しないでください。）

●点検

- 機器の上や近くに紙、プラスチック、油類など燃えやすいものをおいていませんか？
- 排気口や給気口をふさいでいませんか？

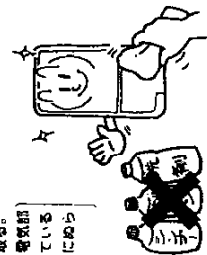
●お手入れの方法

- 水ストレーナの掃除は、次の要領で行なってください。

1. 給水元栓を閉める
2. 給水接続口にある水ストレーナをはずす
水ストレーナ（水抜き栓兼用）(注) 少し水が出ます。
給水口
3. 水ストレーナを洗う
歯ブラシなどで洗う
水道水
水ストレーナ
4. 水ストレーナをもとにもどす
水ストレーナ（水抜き栓兼用）
給水口
5. 給水元栓を開ける

点検・お手入れ

■ 本体が汚れたときは？
布または、スポンジに台所用洗剤(中性洗剤)をつけて、ふき取る。

■ リモコンが汚れたときは？
水をつけた布をかたく絞り、軽くふき取る。
内部は、電気部品が入っているので絶対にぬらさない。

●点検・お手入れ後の確認

• 点検・お手入れの後は、ガス元栓を開いて、給湯スイッチを「入」にして給湯栓を開き、機器が正常に作動していることを確認してください。
万一、異常な燃焼・臭気・異常音を感じられたときは、使用を中止し、ガス元栓を閉めてお買い上げの販売店または、お近くの東京ガス支社へご連絡ください。

定期点検のおすすめ

ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。お買い上げの販売店またはお近くの東京ガス支社にご相談ください。
●機器が古くなると熱交換器やバーナにサビやスス、ほこり等がつまったりします。また取り付け場所によりバーナに「くも」が巣をはることがあります。このような場合不完全燃焼を起こすことがあり、ときどきご使用中に異常(異常音、排気に不快な臭い、目にしみる等)がないか確認してください。異常に気づかれた場合は、使用を中止し、ガスの元栓を閉めてお買い上げの販売店またはお近くの東京ガス支社にご連絡ください。

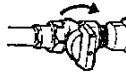
故障かな？と思ったら

1 停電・断水・ガスの供給が停止した時

	停電	断水	ガスの供給停止
給湯・シャワー	〈停電時〉 ●運転は停止しますが、水は出続けます。 ●給湯栓を閉じてください。 〈通電後〉 ●使用方法(8ページ参照)によりご使用ください。	〈断水時〉 ●運転は停止します。 ●給湯栓を閉じてください。 ●給湯スイッチを「切」にしてください。 〈再通水後〉 ●使用方法(8ページ参照)によりご使用ください。	〈供給停止〉 ●運転は停止しますが、水は出続けます。 ●給湯栓を閉じてください。 ●給湯スイッチを「切」にしてください。 〈供給再開後〉 ●使用方法(8ページ参照)によりご使用ください。
暖房	〈停電時〉 ●運転は停止します。 ●すべての放熱器の運転スイッチを「切」にしてください。 〈通電後〉 ●使用方法(10ページ参照)によりご使用ください。	〈断水時〉 ●通常は正常運転します。 ●エラーコード543が点滅し、運転が停止する場合があります。その場合は、お近くの東京ガス支社に連絡してください。	〈供給停止〉 ●運転は停止します。 ●すべての放熱器の運転スイッチ、暖房スイッチを「切」にしてください。 〈供給再開後〉 ●使用方法(10ページ参照)によりご使用ください。

2 次のような場合は故障ではありません。

現象	説明
寒い日に排気口から湯気がでる。	排気ガスの水分が水蒸気に変わるためであり異常ではありません。
給湯停止後もファンの回転音がする。	再使用時の点火をより早くするため約5分間は回転しています。
給湯栓を絞るとお湯が白くなる。	水の中の空気が分離して気ほうとなるためです。
長時間給湯を使っていると火が消える。	給湯を90分間連続して使うと自動的に火が消えるようになっています。
給湯栓を急に止めるとゴツンと音がすることがある。	給水パイプに逆止弁を取り付けると、音がする場合がありますが、水が急に止まるために発生する音で異常ではありません。

故障かな？と思ったら

3 故障・異常の見分け方・処置方法

ご使用中に、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、ただちにご使用を中止され、十分な点検をしてください。

原因 (○＝主原因 △＝原因)	給湯栓を開けても湯が出ない	使用中に水になる	高温の湯が出ない	使用中に湯温が極端に変動する	「🔥」表示が点灯しない	暖房がきかない、またはききがおそい	処置方法
ブレーカが「入」になっていない	○					○	ブレーカを「入」にする
ガス元栓の開き不十分	△	△	○	△	△	△	ガス元栓を全開にする
配管内に空気が残っている	△	△			△		点火操作をくり返す
給水元栓の開き不十分	○	△		△			給湯栓をいったん閉めてから給水元栓を全開にする
水ストレーナの詰まり	△	△		△			詰まり除去または点検を依頼する
断水している	○						使用をいったん中止する
凍結している	○						解凍するまで使用を中止する
給湯栓の開き不足	△	△		△			給湯栓を全開にする

4 エラーコード表示について

この機器には、不具合が生じたときにその原因をエラーコードで知らせる機能があります。
下表のエラーコードの表示に応じた処置を行ってください。

表示	原因	処置方法
001	給湯を連続90分以上運転したためです。	給湯栓を「閉」にして再度「開」にしてください。
111	給湯側の点火エラーが生じたためです。	ガス元栓が全開であることを確認後、給湯栓を「閉」にして再度「開」にしてください。
721	給湯側の回路に異常がおきたためです。	ガス元栓が全開であることを確認後、給湯栓を「閉」にして再度「開」にしてください。
113	暖房側の点火エラーが生じたためです。	ガス元栓が全開であることを確認後、すべての放熱器の運転スイッチをいったん「切」にし、しばらく待ってから「入」にください。
723	暖房側の回路に異常がおきたためです。	ガス元栓が全開であることを確認後、すべての放熱器の運転スイッチをいったん「切」にし、しばらく待ってから「入」にください。

上記以外の表示がでる場合は、ランプが点灯しているスイッチをいったん「切」にして再操作してください。

再操作しても同じ表示がでる場合は、ブレーカを切らないで、お買い上げの販売店へ連絡。

●安全装置が作動したときの処置方法

• 点火しなかったり、ご使用中にバーナが消火したときは、15〜16ページの「故障かな？と思ったら」に従ってください。
また、次の安全装置が働いた場合には、メーンリモコンの操作スイッチを「切」にし、ガス元栓・給水元栓を閉めてから、お買い上げの販売店またはお近くの東京ガス支社にご連絡ください。

1 給水元栓を閉める

2 ガス元栓を閉める

3 お買い上げの販売店またはお近くの東京ガスへ

連　絡

●下記の異常時には、安全装置が働きます

- ●給湯バーナの炎が消えた場合……給湯立消え安全装置
- ●暖房バーナの炎が消えた場合……暖房立消え安全装置
- ●暖房回路の水が万一極端に減った場合……空だき防止装置(暖房)
- ●空だきした場合……空だき安全装置(給湯・暖房)
- ●機器の温度が異常に上昇した場合……過熱防止装置
- ●電気回路に漏電が生じた場合……漏電安全装置
- ●過電流が流れた場合……電流ヒューズ
- ●機器内の水圧が異常に上昇した場合……過圧防止安全装置

仕様

機種名		ガス給湯暖房機	
型式名		AD-243RFA	AD-243FFA
品番		AD-243RFA	AD-243FFA
種類	給湯方式	先止め式	
	暖房方式	温水循環方式	
	給排気方式	強制排気方式	強制給排気方式
設置方式		屋外設置方式	屋内設置方式
着火方式	給湯・暖房	ダイレクト着火	
外形寸法 (mm)	本体	高さ750×幅480×奥行255	高さ750×幅480×奥行300
	メーンリモコン	高さ198×幅 98×奥行 21	
重量	本体	35kg	36kg
	メーンリモコン	0.3kg	
水圧	使用水圧	1kg／cm²以上	
	作動水圧	0.16kg／cm²	
最低作動水量	給湯	2.0ℓ／分	
	暖房	0ℓ／分以上(締切り使用可)	
ポンプ揚程	暖房	6.0m H_2O(6.5ℓ／分のとき)	
温度制御方式	給湯	電子式ガス比例制御方式	
	暖房	電子式ガス比例制御およびOFF制御方式	
温度調節	メーンリモコン 湯調	約38℃～約47℃(1℃間隔)、約60℃	
	暖房	約80℃	
給湯量制御方式		水量比例制御方式	
排気ファン制御方式	給湯	負荷による比例制御	
	暖房	負荷による比例制御	
	同時	負荷による比例制御	
安全装置		給湯立消え安全装置・暖房立消え安全装置・空だき防止装置・空だき安全装置・過熱防止装置・電流ヒューズ・過圧防止安全装置・停電時安全装置・ファン回転検知装置・凍結予防ヒータ・水量センサー・誘導雷保護装置・漏電安全装置	
消費電力		最大150W	最大 W
		凍結予防運転作動時：最大190W	凍結予防運転作動時：最大 W
接続	ガス	R¾オネジ(20A)	
	給水・給湯	15Aソルダー継手付属(G½)	
	暖房	G¾オネジ(20A)	
	オーバフロー	10Aソルダー継手付属(R½)	
	電気	本体電源 AC100V 50Hz 3心(うち1心アース用)	
		メーンリモコン2心	
	給排気 接続口	――――	給気口φ80・排気口φ80
	給排気 最大延長長さ	――――	最大延長 12m4曲り
付属品		メーンリモコン(一式)	
BL品番		AD-243RFA	AD-243FFA

使用ガス			1時間当たりのガス消費量(kcal／h)				標準出力(kcal／h)	
使用ガスグループ		型式名	全ガス消費量	給湯ガス消費量		暖房ガス消費量	能力最大時	
				最大	最小		給湯	暖房
都市ガス用	13A	AD-243RFA AD-243FFA	38,900	30,100	4,700	11,200	24,000 (16号)	9,000
	12A		38,200	28,000	4,400	10,400	22,400 (14.9号)	8,400

		都市ガス用13A	都市ガス用12A
出湯能力(ℓ／min)(能力大)	水温＋25℃上昇	(16.0)	(14.9)
(太丸:1kg／cm²時)	水温＋40℃上昇	10.0	9.3

● 給湯能力の(　)内は、水温＋25℃上昇に換算した相当出湯能力です。

仕様

項目		AD-362RFA-L	AD-362FFA-L
機種名		ガス給湯暖房機	
型式名		AD-362RFA-L	AD-362FFA-L
品番		AD-362RFA-L	AD-362FFA-L
種類	給湯方式	先止め式	
	暖房方式	温水循環方式	
	給排気方式	強制排気方式	強制給排気方式
設置方式		屋外設置方式	屋内設置方式
着火方式	給湯・暖房	ダイレクト着火	
外形寸法 (mm)	本体	高さ760×幅480×奥行266	高さ760×幅480×奥行300
	メーンリモコン	高さ198×幅 96×奥行 21	
重量	本体	41kg	43kg
	メーンリモコン	0.3kg	
水圧	使用水圧	1kg／cm²以上	
	作動水圧	0.15kg／cm²	
最低作動水量	給湯	2.0ℓ／分	
	暖房	0ℓ／分以上(締切り使用可)	
ポンプ揚程	暖房	6.0m H_2O(6.6ℓ／分のとき)	
温度制御方式	給湯	電子式ガス比例制御方式	
	暖房	電子式ガス比例制御およびOFF制御方式	
温度調節	メーンリモコン 湯調	約38℃～約47℃(1℃間隔)・約60℃	
	暖房	約80℃	
給湯量制御方式		水量比例制御方式	
排気ファン制御方式	給湯	負荷による比例制御	
	暖房	負荷による比例制御	
	同時	負荷による比例制御	
安全装置		給湯立消え安全装置・暖房立消え安全装置・空だき防止装置・空だき安全装置・過熱防止装置・電流ヒューズ・過圧防止安全装置・停電時安全装置・ファン回転検知装置・凍結予防ヒータ・水量センサー・誘導雷保護装置・漏電安全装置	
消費電力		最大165W	最大185W
		凍結予防運転作動時：最大220W	凍結予防運転作動時：最大240W
接続	ガス	R¾オネジ(20A)	
	給水・給湯	20Aソルダー継手付属(G¾)	
	暖房	G¾オネジ(20A)	
	オーバフロー	10Aソルダー継手付属(R½)	
	電気	本体電源　AC100V　50Hz　3心(うち1心アース用)	
		メーンリモコン2心	
	給排気 接続口	――	給気口φ100・排気口φ100
	給排気 最大延長長さ	――	最大延長 12m 4曲まで
付属品		メーンリモコン(一式)	
BL品番		AD-362RFA-L	AD-362FFA-L

使用ガス	使用ガスグループ	型式名	1時間当たりのガス消費量(kcal／h) 全ガス消費量	給湯ガス消費量 最大	給湯ガス消費量 最小	暖房ガス消費量	標準出力(kcal／h) 能力最大時 給湯	追いだき	暖房
都市ガス用	13A	AD-362RFA-L AD-362FFA-L	59,800	45,000	4,700	15,000	36,000 (24号)	7,500	12,000
	12A		55,600	41,850	4,400	14,000	33,400 (22.3号)	7,500	11,100

		都市ガス用13A	都市ガス用12A
出湯能力(ℓ／min)(能力大)〔水圧1kg／cm²時〕	水温＋25℃上昇	(24.0)	(22.3)
	水温＋40℃上昇	15.0	13.9

● 給湯能力の(　)内は、水温＋25℃上昇に換算した相当出湯能力です。

● 長期間使用しない場合

- 必ずガス元栓・給水元栓を閉め、各リモコンおよび、放熱器のすべてのスイッチを「切」にし分電盤のブレーカを「切」にして、凍結予防の処置を行なってください。

保管とアフターサービス

1 サービスを依頼されるときは

- まず15〜17ページ 故障かな？と思ったら を確認のうえ、なお異常のあるときは、お買い上げの販売店またはお近くの東京ガスにご連絡ください。
- アフターサービスをお申し付けのときは、次のことをお知らせください。
  1. ご氏名・ご住所・電話番号・道順
  2. 品名 AD－243RFA・AD－243FFA
AD－362RFA－L・AD－362FFA－L
  3. 故障または異常内容(エラーコードの表示番号及び故障または異常内容をできるだけ詳しく)
  4. 訪問希望日

2 保証について

- 取扱説明書の23ページが保証書になっています。
必ず「販売店名・購入日」等の記入をお確かめになり、保証の内容をよくお読みの後、大切に保存してください。
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

3 補修用性能部品の最低保有期間について

- 補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は製造打切り後１０年です。

4 転居または機器を移設される場合

- ガスの種類が異なる地域、または電源周波数の異なる地域へ転居される場合は、調整、改造の必要があります。お買い上げの販売店、または転居先のガス会社にご相談ください。
- 増改築などのため機器を移設される場合、工事には専門の技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店、またはお近くの東京ガスにご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。また、機器本体の排気口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
- 転居、移設にともなう調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

5 アフターサービス等についてわからないとき

- 販売店またはお近くの東京ガス（裏表紙一覧表ご参照）にお問い合わせください。

6 保守契約制度

- 保守契約制度（有料）に加入いただくと、定期点検を専門家が責任をもって行ないます。この保守契約につきましては、お買い上げの販売店か、お近くの東京ガスにご相談ください。

保 証 書

型式名	AD－362RFA－L ／ AD－243RFA AD－362FFA－L ／ AD－243FFA
品　名	AD－362RFA－L ／ AD－243RFA AD－362FFA－L ／ AD－243FFA

上記機器をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書は東京ガス供給区域内において都市ガス用としてご使用になる場合、本証記載内容で無料修理をお約束するものです

記

(1) 保証期間は、お買い上げの日から２年間とし機器本体を対象とします。
附属品は対象外です。
(2) 万一故障の場合はお買い上げの店、もしくは最寄りの東京ガスへお申し出ください
(3) サービス員が参上した時に本証書をお示しください。
(4) 保証期間中でありましても次の場合には有料修理といたします
　(イ) 取扱説明書によらないでご使用になり故障した場合
　(ロ) お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷
　(ハ) 火災、天災、地震等による故障、その他不可抗力による故障
　(ニ) お買い上げの店、あるいは東京ガス以外で、ご本人の了承なしに改造された場合
　(ホ) 機器に表示してある以外のガスでご使用のため改造された場合　ただし、当社都合の場合はのぞきます。
　(ヘ) 本証書を紛失された場合。
(5) 無料修理やアフターサービス等について、ご不明の場合はお買い上げの店または、もよりの東京ガス支社・営業所にお問い合わせください。

保証履行者　東京ガス株式会社　東京都港区海岸1丁目5番20号　電話03(3433)2111

保証責任者　松下電器産業株式会社　松下住設機器株式会社　奈良県大和郡山市筒井町800　電話07435 (6) 1121

	年月日	修理内容	サービス員印
修理記録			

お買上げ日	年　　月　　日

販売店名		印
住　所		
電話番号		

お客様へ
1. この保証書をお受取りになる時に販売年月日、販売店名、捺印が記入してあることを確認してください。
2. 本保証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保存してください。
3. 無料修理期間経過後の故障修理等につきましては取扱説明書をご覧ください。
4. この保証書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。

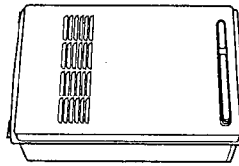
機器コード	情報番号	通し番号	訂正番号
5406345	13	14	1

取扱説明書（別冊）

PL法対応

「安全上のご注意」

ガス給湯暖房機

ご使用の前に「取扱説明書」及びこの取扱説明書（別冊）をよくお読みの上、正しくお使いください。
そのあと大切に保管し、必要なときお読みください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

表示	内容
⚠危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は、絵表示の一例です。）

絵表示	内容
⚠	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
⊘	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

※熱源機の形状は異なる場合があります。

■ガス漏れに気付いた時は、ガス栓を閉め、お買い上げの販売店へ連絡する

ガス栓を閉める
ガス栓
窓や戸を全開にする
（屋内式の場合）
お買い上げの販売店またはガス供給業者に連絡する

そのままにしておくと、引火し、爆発・火災の原因となります。

■ガス漏れ時は、絶対に火をつけたり電気器具のスイッチの「入・切」などはしない

引火し、爆発・火災の原因となります。

■屋内に設置しない（屋外式の場合）

燃焼排ガスが室内に流入したり、正常な給排気ができないため異常燃焼し、酸欠や一酸化炭素中毒などの原因となります。

■給排気筒が外れたり、つまった状態で使用しない（給排気筒使用の場合）

燃焼排ガスが室内に漏れたり、正常な給排気ができないため異常燃焼し、酸欠や一酸化炭素中毒などの原因となります。

■必ず銘板に表示のガス・電源を使用する

他のガス種・電源を使用すると熱源機が正常に作動しなくなり、異常燃焼し、一酸化炭素中毒や火災などの原因となります。

⚠警告

■異常燃焼・臭気・異常音を感じたとき、地震・火災のときは次の手順に従う

リモコンおよび放熱器のスイッチを「切」にする

お買い上げの販売店またはガス供給業者に連絡する

そのままにしておくと、火災の原因となります。

■給排気口（トップ）をおおわない

火災や異常燃焼による熱源機故障の原因となります。

■お出かけやお休みなど長時間使用しないときは、リモコンのスイッチを「切」にする

リモコンのスイッチを「切」にする

旅行など、長期間使用しない場合は凍結予防のため水抜きを行なう

水抜き方法は別添の取扱説明書を参照する。

ガス漏れが生じた場合、火災の原因となります。

■ガソリン・ベンジン・灯油など引火のおそれのあるものを近くで使用しない

火災の原因となります。

■熱源機の設置、移動の工事はお買い上げの販売店に依頼する

正常に熱源機が設置されないと火災や熱源機故障の原因となります。

※混合水栓はレバーを上げた状態が給湯栓「開」の場合で説明してあります。

■燃えやすいものとは離す（屋内式の場合）

ヨコ 4.5cm以上
ヨコ 4.5cm以上

上記の離隔距離を確保しないと、火災の原因となります。

■燃えやすいものとは離す（屋外式の場合）

ヨコ 15cm以上
マエ 60cm以上
ウエ 30cm以上
ヨコ 15cm以上

上記の離隔距離を確保しないと、火災の原因となります。

■高温差し湯中は、アダプター付近に触れない（高温差し湯機能のある場合）

接触禁止

アダプターから熱湯が出るので、やけどの原因となります。

■スプレー缶を排気口（トップ）の前方に置かない、前方で使用しない

熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発・火災の原因となります。

■増改築などにより屋内状態にしない（波板などにより囲いをすることもおやめください。）（屋外式の場合）

正常な給排気ができないため異常燃焼し、一酸化炭素中毒などの原因となります。

■入浴時、シャワー使用時はまず手で湯温を確認する

やけど注意

やけどの原因となります。

■給湯・シャワー使用時は、使用者以外湯温を変えない

高温に設定されると熱湯によるやけどの原因となります。

—4—

⚠注意

■追いだきするときは水位が循環口より10 cm以上、上にあることを確認する（追いだき機能のある場合）

空だきによる火災や、熱源機故障の原因となります。

■使用中や消火直後は、排気口（トップ）付近に触れない

接触禁止

やけどの原因となります。

■熱源機の上に乗ったり、物を乗せたりしない

やけどや熱源機の転倒により、けが・熱源機故障の原因となります。

■点火時、消火時、使用中はリモコンの燃焼表示（ランプ）の点灯・消灯を確認する

確認を怠ると、熱源機の異常を早期に発見できなくなります。

■排水の不良などで熱源機が冠水するような状態では使用しない（屋外式の据置形の場合）

火災や異常燃焼による熱源機故障の原因となります。販売店にご相談ください。

■パネルヒーターの表面は触らない（パネルヒーター使用の場合）

やけどの原因となります。

■点検・お手入れはリモコンのスイッチを「切」にし、給水元栓とガス栓を閉め電源プラグを抜いて（またはブレーカを「切」にして）熱源機が冷えてから行なう

やけどや感電の原因となります。

■車両・船舶への設置はしない

振動により熱源機が転倒し、火災や熱源機故障の原因となります。

■アース接続されていることを確認する

漏電が生じた場合、感電の原因となります。アース接続されていない場合は、販売店に依頼してください。

■屋外に設置しない（屋内式の場合）

炎が風にあおられて火災の原因となったり、雨水などが入り熱源機故障の原因となります。

■給湯・お湯はり・給湯暖房用として使用する

他の用途に使用すると、火災や熱源機故障の原因となります。

■お客様ご自身で修理・分解をしない（フロントカバーを外さない。）

不備が生じた場合、火災や感電・熱源機故障の原因となります。

■電源プラグの抜き差しは、プラグをもって確実に行なう（電源プラグがある場合）

コードを持って引き抜いたりするとコードが切れ、感電や火災の原因となります。

■床暖房の上に電気カーペットを敷かない

床材の割れ、そり、隙間の原因となります。

■カーペット式床暖房に鋭利なものを落としたり、刺したりしない

温水パイプが破損し、温水が噴き出しやけどの原因となります。

■床暖房の上で高い温度に設定したまま長時間すわったり、寝そべったりしない

低温やけどの原因となります。

■電源プラグまたはブレーカはぬれた手で触らない

感電の原因となります。

KGX0026XHNA